

JAセレサ川崎 機関誌

CERESA

11月号
2018 November

No.254

特集

動植物に関連した地名の農昔話

<http://www.jaceresa.or.jp/>

Contents

特集 動植物に関連した地名の農昔話	3
PICK UP	8
川崎探検隊 菅北浦を歩く	12
逸 私の好きなこと エレキと歩む第二の青春 中原区下小田中・宮田 和博さん	14
ひゅうまん 地域の歴史を後世に伝える 宮前区有馬・伊藤 昇さん	15
POWER全開! ゼロから始めた花き栽培 麻生区王禅寺・内山 曜子さん	16
食&農 リンゴ	17
農作業ノート あなたの野菜畑に耕盤はありませんか? 営農技術顧問・吉田 敏政	18
農協改革&運勢	19
mail box & クロスワードパズル	20
JAからのお知らせ & 教えてJA! Q&A広場	21
インフォメーション	22
いきいきファーマーズ 麻生区・伊藤 実さん 宮前区・藤田 幸雄さん 麻生区・山田 邦夫さん 高津区・森 三十四さん セレスモスからのお知らせ	23
DISH UP! 彩り豊かな野菜とシーフードの甘辛炒め 中原区・高木 トミ子さん	24

12月の行事予定

6日
(木)

総代研修会
(15時～、本店)

18日
(火)

定例理事会

19日
(水)

第7回セレスモス市
(10時～本店、セレスモス宮前店)

20日
(木)

第7回セレスモス市
(10時～本店、セレスモス宮前店)

23日
(日)

天皇誕生日

24日
(月)

振替休日

28日
(金)

仕事納め
(年末年始の営業時間については次号で掲載
いたします)

※日程等は変更されることがあります

今月の
表紙



《ハクサイの収穫作業》

今月の表紙は、ハクサイの収穫作業に励む麻生区古沢の井上広基さん。畑では、家族4人でブロッコリーやサツマイモなど年間70品目ほど栽培し、柿生野菜生産者直売会の他、セレスモス麻生店や市内外の飲食店に出荷しています。

ハクサイは、オレンジクインやレタサイなど5品種を栽培。「今年は台風の影響で葉が痛むなどの被害もあったが、例年通り良いハクサイができた」と笑顔を見せます。

これからの時期は、ハクサイやカブなど丹精して育てた冬野菜の収穫で忙しい日々が続きます。

宮前区有馬



昭和40年頃



多摩区菅稲田堤



昭和44年頃

川崎市多摩区農協同組合史より



動植物に関連した **地名の農昔話**

平成29年4月に人口150万人を突破した大都市川崎。現在、市内には住宅や高層マンション、商業ビルなどが建ち並んでいます。かつてはどの地域にも田畑が広がり、人力の他、牛や馬など動物の力を借りて農作業が行われていました。さらに、各地域では地形や立地を活かした米や野菜、果樹栽培などが盛んに営まれ、一部では地域の特産品や土地柄などにちなむ地名もあるとされています。

そこで今号では、動植物に関連した地名の中から地域を選び、その名の由来を探るとともに4人の方にかつてどのような農業が行われていたのか伺ってみました。

麻生区白鳥



昭和35年頃

写真提供
麻生区・鈴木正視さん



高津区宇奈根



昭和35年頃



宮前区有馬

宮前区の南部に位置し、国道246号線が域内を横断している。一帯は住宅地となっているが、梨などの果樹園も点在している。

自給自足の生活

持田梅雄さん(86)

昭和10年代後半、有馬一帯は竹山に囲まれ、点在する田畑でネギやジャガイモなど野菜の他、有馬川から水を引いて米作りをしていました。学校から帰ると田植えや収穫などの作業に汗を流す毎日。手伝いの合間など休みには、友達と野イチゴや桑の実を探して食べたり有馬川でフナを釣ったりして遊んでいました。



持田梅雄さん

川崎市中央農協 一千年史より



家族総出で行う田植えの様子(昭和39年頃)

毎年6月には万能と呼ばれる鋤で田んぼを耕して田植えの準備。5kgほどある万能は子どももの力ではなかなか持ち上がらず、腱鞘炎になりそうなくらい辛い作業でした。秋には家族総出で稲を刈り、掛け干し用の真竹を自宅の裏山から伐採。6月ほどの竹を3本担ぎ、山道を避けながら約1時間かけて田んぼまで運ぶため、肩が外れそうなほど重くて大変でした。

昭和20年頃には米作りの他、キャベツやハクサイなどを栽培。最盛期には朝4時頃から収穫を始め、父と一緒にリアカーで大崎や田園調布の市場まで片道3時間以上かけて運んでいました。

昭和30年頃になると三輪オートバイや耕耘機などが普及し、これ



実際に使っていた農具

までの作業は大幅に軽減され、トマトやキュウリの栽培も始めました。特にトマトは10円玉ほどの範囲が赤く染まったら収穫し、到着時に食べ頃の状態になるよう運ぶ時間を考慮して出荷。大きさも揃えて出荷していたので、品質が良いと市場から信頼されていました。その後も農業に専念してきました。



昔の持田さんの自宅前(昭和40年頃)と現在の様子



有馬

有馬の地名は、江戸時代までは「有間」、「在間」とも表記されていたが、明治時代以降は「有馬」を用いている。「有馬川が丘陵の間を縫って流れる地形」、「山間の土地」、「朝廷用馬を生産する勅旨牧^{ちくしほまき}である石川牧があった」など地名の由来は諸説ある。

だが、昭和40年頃からの区画整理や東急田園都市線の開通などにより、周辺には住宅やマンションが建ち並ぶようになりました。

現在は40アほどの畑でトマトやキャベツなどを栽培。直売の他、近隣のスーパーなどへの出荷に向け、汗を流しています。

多摩区菅稲田堤

多摩区の北部に位置し、多摩川とJR南武線に挟まれている。地域は古くから梨の栽培が盛んな他、一部では米作りも行われている。

70年以上続ける梨栽培

小川 正年さん (88)

この辺り一帯は昔から梨栽培が盛んで、昭和15年頃には祖父が20[㍓]ほどの梨畑で『長十郎』と『菊水』を栽培していました。小学校から帰るとすぐに畑に向かい、梨の袋掛けや野菜の収穫、田植えなどの手伝いが日課で、一年中農作業に専念していました。

化学肥料がなかった当時は、自転車でリアカーを引き、片道3時



小川正年さん



昭和35年頃の梨畑と小川さん夫婦

間ほどかけて、現在の杉並区の方南町駅辺りまで下肥を取りに行っていました。青年団の会合や農作業の時間を避け、0時から朝3時の間に出発することもしばしば。肥槽を6個載せ、夏は汗だくで眠気と戦いながらの長い道のりは辛いものでした。それでも汲み取り料として1樽につき30円ほどもらえたので、良い小遣い稼ぎで励み



梨の収穫に使っていた竹カゴ

にもなりました。

収穫した梨は、近所の共同集荷場へ出荷。形や色が良いと評判で、市場関係者から「高値で売れたからまたお願い」と言われることも多く、一層栽培に力が入りました。

栽培に励む中、戦争が激化するにつれて供出制度が体系化。梨畑の大半を田んぼや野菜畑へ切り替えることを強いられ、割り当てを果たすため休む暇なく米やイモ類の栽培に汗を流しました。

昭和30年頃に制度は廃止され、再び田畑に苗木を植栽。近隣農家で組合を結成し、当時珍しいもぎ取りや宅配の他、当番で練馬方面で対面販売を行っていました。

その後も地域では梨を中心に農業が盛んに続けられてきました



昔の小川さんの自宅前(昭和35年頃)と現在の様子

菅稲田堤

菅稲田堤は、江戸時代には菅村に属し、明治22年に5つの村が合併して稲田村と呼ばれるようになった。梨や桃が栽培される以前は稲毛領にちなむ「稲毛米」が栽培され、かつては浅草の蔵前まで献上米として納められていたといわれている。

が、昭和46年には京王稲田堤駅が開業。人口の増加とともに近隣には住宅が建ち並びました。

辺りは大きく様変わりしましたが、現在でも10[㍓]ほどの畑で幸水や豊水などを栽培。70年以上続ける梨畑を家族で守っています。



高津区宇奈根

区の北西部にあり、多摩川河畔に位置する。町域の半分は河川敷の多摩川緑地となっており、堤内は住宅地の間に工場が点在している。

時代と共に歩んだ養鶏

河原定男さん（84）

昭和の初め頃、祖父が馬絹地区の竹で多摩川梨の出荷カゴを製作し、父は25アほどの農地で桃栽培と養鶏を営んでいました。時代の流れから出荷容器が竹カゴから木箱へと切り替わったことで、桃栽培と養鶏が経営の中心になっていきました。

昭和17年に供出制度が体系化されると、麦などへの作物転換を強いられ、割り当て量を確保するた



河原定男さん



当時の鶏のケージ

め泣く泣く桃の木を伐採して畑を広げ、家族総出で農業に励みました。それでもすべての営農事業を制限されたわけではなく、20羽ほどの鶏の飼育は続けました。

戦後も麦などの穀物類を栽培していましたが、安価で栄養がとれる卵の需要が高まり、昭和20年代後半から養鶏の規模を拡大。多忙ながらも戦時中とは異なり、やりたいことができ、毎日がとても充実していました。そうした中、高い死亡率などから鶏の病気の中でもっとも恐れられるニューカッスル病が発生。大半が出荷できない大きな被害を受けました。

それでも災難にめげることなく、昭和30年代後半には養鶏を地域に広めようと、父が発起人となり宇奈根養鶏組合を設立。予防接



昔の河原さんの養鶏場(昭和33年)と現在の様子

種を徹底した上で、知識や技術を広めていきました。その甲斐あって、昭和40年頃再び同病の猛威に晒された時、周辺地域は甚大な被害を受けたものの、宇奈根地区だけは最小限に抑えられました。

その後も宇奈根では12軒ほどが養鶏を営んでいましたが、昭和50年代後半に県内で大規模養鶏農家



鶏糞は乾燥させ肥料会社などに出荷



の台頭などから卵の価格が大幅に下落。徐々に減っていきました。自農園も昭和62年に廃業。現在、養鶏を営むのは2軒だけです。廃業後は、コマツナや柿などの野菜や果樹を年間通して栽培。敷地内の直売所で販売しています。

宇奈根

宇奈根の由来は、多摩川沿岸の自然堤防状の低く長く延びた畝(うね)のような地形にちなむなど諸説ある。かつては世田谷区宇奈根と地続きの一村だったが、多摩川の度重なる流路の変遷によって川を隔てて分かれたといわれている。

麻生区白鳥

東京都稲城市に隣接し、小田急多摩線が町の中心を通っている。丘陵斜面にある地区で、住宅やマンションなどが多く建ち並ぶ。

市場から共同直売へ

小野 匡由さん (95)

昭和の初め頃、農地を借りて米作りをしていましたが、重い小作料の負担により自分たちが食べる量を確保できず、作った米を口にできない年もありました。

戦時下の昭和18年に青年学校を卒業し、翌年に中国へ出征。戦地では家族や田畑を心配しながら命懸けで毎日を過ごしていました。

終戦後も中国国内の国共内戦が



小野匡由さん



昭和20年代前半まで使用していた脱穀機

影響し、約2年間残留。その後帰国し、互いの無事を喜ぶのも束の間、家族を養わなければならず、新たな収入を得るためキュウリなど野菜の栽培に着手しました。

化学肥料が高価だった当時、下肥は近隣に作られた共同肥料溜から購入。農薬も出回り始めたばかりだったため減農薬栽培を励行



下肥を入れていた同型の容器

し、日々農作業に励みました。収穫した野菜は、東京の市場に出荷。丹精して育てた野菜の値段が個々の品質ではなく箱単位で決まり、売れ残りは処分されるなどやるせない気持ちもありました。

昭和40年代になると地場産農畜産物の人気が高まり、市内各地の農業まつりで野菜の直売が大好評。人気ぶりから直売形式で効率的に販売しようと、柿生地区の生産者とともに昭和47年に「柿生野菜生産者直売会」を発足。当初は売上が伸びず、夜も小田急線柿生駅前で販売するなど苦労しましたが、生産調整や出荷計画の見直しなど改善を進め、昭和60年には会の売上高が1億円を突破しました。その後直売会への出荷を続け



のどかな農村風景が広がる柿生地区(昭和27年)と現在も盛んに栽培されている小野さんの畑



白鳥

白鳥は、鎮守白鳥神社の名からつけられた。白鳥神社は白鳥、片平、五力田、栗平地区の鎮守。日本武尊が亡くなった時、白鳥になり慕から飛び立ったという伝説がある。昭和51年に1丁目から3丁目が誕生し、平成14年に4丁目の住所表示が実施された。

てきましたが、周辺では小田急多摩線沿線の開発や区画整理により宅地化が進み、農地はかなり減ってしまいました。

現在は、残された畑で定番野菜など年間20品目ほど栽培。直売会は息子に任せていますが、毎日畑に向かい農作業に励んでいます。

女性部支部対抗戦でスポーツの秋を満喫

女性部は10月26日、中原区のとどろきアリーナで第20回女性部クリエーション大会を開き、部員と役員合わせて約1000人が参加しました。

当日は、聖火リレーなど計4種目の競技に汗を流して支部を超えた絆を深め、最後は恒例の輪踊りで大会を締めくくりました。



役員も参加した聖火リレー



瞬間に決着する玉入れ



会場を鮮やかに彩る輪踊り



準備体操は楽しみながらも念入りに



チームワークが試される頭上送りゲーム



リズムが肝心バケツリレー

ソフトボール大会で交流深める

青壮年部は10月11日、麻生水処理センターあさおふれあいの丘で、ソフトボール大会を開きました。

当日は、橘・高津・幸中原、宮前・向丘、生田、稲田、菅、柿生の6チームで63人が出場。トーナメント方式による対戦で熱戦を繰り広げました。

決勝戦では、稲田と菅チームが対戦。白熱した試合展開の結果、11対6で稲田チームが昨年のリベンジを果たして優勝を収めました。心地よい汗を流した試合後は表彰式と懇親会を行い、スポーツを通じて支部を超えた交流と結束を深めた1日となりました。



優勝した稲田チームのメンバー

J1リーグ戦で都市農業をPR

スポーツを通じた地域貢献活動の一環として10月20日、中原区の等々力陸上競技場で行われたサッカーの「明治安田生命J1リーグ」川崎フロンターレ対ヴィッセル神戸戦に「JAセレス川崎エキサイトマッチ」と銘打ち協賛しました。

当日は、競技場前のフロンパークでセレサモスの出張販売を行い、柿やニンジンなど約10品目を販売。多くのサッカーファンに市内産農産物をPRしました。試合は、一時2点のリードを奪われた川崎が後半、攻撃力を爆発させ、5対3の逆転勝利。試合後には原修一組合長が、同点ゴールを決めた齋藤学選手に「あんたが大賞」を贈りました。



齋藤選手に「やまと豚の詰め合わせ」25kgを手渡す原組合長

直売所の日と3周年フェア大盛況

今年4月に新たに登録された10月2日の「直売所の日」に合わせ、セレサモス両店で9軒の生産者が対面販売を行いました。

当日は、tvk「かながわ旬菜ナビ」番組MC伊藤綾香さんも応援に掛けつけ、市内産野菜の魅力をPR。おすすめの食べ方をアドバイスするなど来場者からの質問に笑顔で応えました。

対面販売での購入者の中から抽選で「みんなのよい食プロジェクト」の「笑味ちゃん」をプレゼントしたエプロンなどをプレゼントする企画も実施。当選者は笑顔で生産者や伊藤さんと記念写真を撮るなど大好評でした。

また、セレサモス宮前店3周



市内産野菜をPRする生産者と伊藤さん

年記念フェアを10月19日から28日までの6日間、セレサモス宮前店で行い、6600人を超える来場者でにぎわいました。

店内には、旬の柿やサトイモなど市内産の新鮮な農畜産物が所狭しと並べられ、食欲の秋を演出しました。店外に設けたブースでは、提携JAによる各地の特産品を販売。JA氷見市やJA京都やましろ、JA栗つこなど12JAが出店し、氷見牛を使った揚げたてのクロツケやカレーパンが人気を集めていました。

また、麻生店では同期間、宮前店3周年記念に合わせたフェアを開き、約8000人の来場者でにぎわいました。



提携先JAによる特産品が人気

田村さん青年の主張で健闘

JA神奈川青壮年部協議会主催のかながわFARM21発表会が10月24日、海老名市文化会館で開かれ、県下6人の盟友が農業に対する思いや主張を発表しました。

当JAからは、農業青年主張の部に稲田支部の田村英喜さんが出場。青壮年部活動を通じて出会った盟友と切磋琢磨しながら、立派な梨農家を目指していく決意などを力強く語りました。審査の結果、惜しくも最優秀

賞を逃しましたが、優秀賞に輝き、会場からは健闘を讃える盛大な拍手が送られました。



青年の主張を発表する田村さん

人生を健康に過ごすコツを学ぶ

青色申告セレサ部会は10月10日、高津市民館で、同会北・西支部会員の交流を深めることを目的に今回で3回目となる合同の講演会を開きました。

当日は、同会員や税務署員、JA役職員合わせて265人が出席。テレビ番組などで活躍している落語家の林家三平師匠を講師に招き「笑いと健康」をテーマに講演と落語が披露されました。

講演では、落語家になるまでの道のりなどをユーモアを交えて紹介後、人生を健康に過ごす

ための体操を全員で実践。続いてお待ちかねの落語が演じられ、会場は終始笑いの渦に包まれました。



落語を演じる林家師匠

食と農の大切さを学ぶ



収穫を楽しむ親子

日吉支店は10月13日、幸区南加瀬の畑でサツマイモの収穫体験を開きました。同支店では、食農教育事業の一環として毎年、川崎市内の生産者の畑で農業体験や料理教室を開催しています。当日は31人の家族が参加し、職員から「サツマイモを傷つけないように掘り出して」などと収穫方法の説明を受けてから作業を開始。その後、収穫したサツマイモや地場産野菜を使用してBBQを行いました。



稲刈りを体験する児童

また、16日には高津区の市立久末小学校の児童が、同小学校内の田んぼで稲刈りを体験しました。当日は、5クラス合わせて176人の児童が参加。6月に植えた稲の収穫時期を迎え、JA職員から「親指が下になるように稲を持ち、鎌をのこぎりのように動かして収穫して」とアドバイスを受け、稲刈りに挑戦しました。児童はJA職員の手ほどきを受けながら5〜6人1組になって稲を刈り、束ねた後にはさげ作業を体験。「自分たちで育てたお米を早く食べたい」と試食の日を心待ちにしていました。

親子でオリジナルミニ盆栽作りを楽しむ



吉垣植木盆栽部長から手ほどきを受ける参加者

植木盆栽部は10月28日、菅支店で親子ミニ盆栽教室を開きました。市内の親子ら45人が参加し、黒松やチェッカーベリーなどを使った寄せ植え作りを楽しみました。当日は、同部員や志村隆宮農技術顧問が指導を務め、はじめに日本で盆栽が始まった経緯など歴史を紹介。続いて作業に移り、参加者は盆栽の配置や向きなどの調整に苦戦しながらも、部員の手ほどきを受け黒ボケなど計5点を植え付けました。完成後は水やりの頻度など長く楽しむコツを学び、「かっこよくできたので家に飾りたい」と、親子で協力して完成させたミニ盆栽を手に笑顔で話しました。

ワイン用に 禅寺丸柿を収穫



「バツパサミ」で柿を収穫する長瀬副会長

柿生禅寺丸柿保存会は10月2日から12日にわたり、麻生区柿生地区内でワイン醸造用に禅寺丸柿を収穫しました。禅寺丸柿は国内最古の柿と言われ、伝統農具「バツパサミ」で柿の木の枝を挟んで枝を折り、柿を収穫します。初日の収穫作業には、同会の会員とJA職員合わせて25人が参加。同地区内6か所を分担し、約1.6トンの柿を収穫しました。数日に渡り収穫した約5.6トンの柿は、山梨県の醸造会社に出荷。今年は猛暑や台風による影響が懸念されましたが、同保存会の長瀬敏之副会長は「甘くておいしい柿に育った。今年はスパークリングワインにも挑戦する予定」と笑顔で話しました。

講習会で担い手支援

果樹部は10月18日、市農業技術支援センターで、梨の大苗育苗講習会を開きました。

当日は、同部員ら50人が参加。県農業技術センター横浜川崎地区事務所の眞壁敏明氏らが講師を務め、単管パイプやワイヤーを使った主軸柱や棚の設置方法について説明しました。その後、改植に伴う収量減の期間短縮など大苗育苗のメリットを紹介。「自農園に合わせて木や枝を調整して」とアドバイスしました。参加者は、写真を撮りながら「ワイヤーのテンションはどうしているのか」などと積極的に質問し、さらなる梨の生産性向上に向け意欲を見せていました。



主軸柱の設置方法を学ぶ参加者

また、アグリスクール第7回講義を10月25日、市農業技術支援センターで開き、新規就農者ら18人が参加しました。

当日は、J A営農技術顧問や職員が講師を担当。トンネル・無加温施設の野菜栽培方法や農薬の種類などの基礎知識について説明しました。その後、同センター内の畑に移り、小ギクの収穫や冬野菜の播種などを実施。ハウレンソウの播種では、マルチの張り方から鎮圧まで一連の作業工程を実践しました。受講者は、「農業の基礎的な知識と技術を実践形式で学ぶことができるとても勉強になる」と話していました。



マルチの張り方を学ぶ参加者

饅頭づくりに挑戦

第3回セラオープンカレッジを10月13日、モスビーホールで開き、組合員およびその家族43人がサツマイモの饅頭作りに挑戦しました。

同カレッジは、都市農業への理解などを深めてもらうことを目的として開催しています。今年度はサポーター制度を導入。同カレッジを過去に受講したことのある組合員にサポーターとして協力してもらい、J Aと組合員が一体となつて取り組んでいます。

当日は、ふるさとの生活技術指導士が講師を務め「形がつかれないよう火加減に注意して」

とアドバイス。参加者は、蒸し上がった饅頭に「売っている饅頭みたい」などと歓声をあげて出来栄に笑顔を見せました。



真剣に餡を包む参加者

家畜・家禽に感謝の祈りを

畜産部は10月25日、高津区久末の南林山普門院「蓮花寺」で畜霊祭を行い、部員やJ A役職員ら16人が参列しました。

畜霊祭は今回で53回目を迎え、半世紀にわたり続く長い歴史を誇っています。式典では同部の大木孝一部長が「今後とも生命の保護と愛護に努めていきます」と祭文を読み上げ、参列者全員で焼香を行いました。



焼香を行う大木部長

菅北浦を歩く

地域住民に親しまれる場所を訪ねる



菅北浦

多摩区の北西部に位置し、近くに多摩川が流れ、JR南武線と京王相模原線が走っている。一帯は住宅地や商業施設が多く立ち並んでいるが、菅北浦緑地をはじめ、梨畑も残る自然豊かな地域。



今回はJR南武線稲田堤駅で下車し、街歩きへ出発します。改札を出て左手側の踏切を渡り、そのまますすぐ歩きます。JR稲田堤駅入口の交差点を左手側に進むと、豆腐屋を発見。店主が毎朝手作りをしている豆腐を購入しました。店を後にし、街歩きを再開します。大通りを歩いていると、「焼きたてパン屋さん」ののぼり旗を見つけました。店内には、焼きたてのおいしそうなパンなどがずらり自家製カスタードが入ったクリームパンをいただきました。

大通りに戻り散歩を続けると、ひと際目立つ「銘菓堂 瓦せんべい」と書かれたオレンジ色ののれんが！店内には、たくさんの種類の煎餅が並んでおり、人気のだるま煎餅を買いました。次はどこに行こうかと考えていると、地元の方が「珍しい植物を売っている農園があるよ」と教えてくれたので、早速訪ねることにします。住宅地を歩き進むと、ビニールハウスが見えてきました。見たことのない品種がたくさんあるなど興味津々に眺めていると農園の方が話しかけてくださり、珍しい品種の苗などを紹介していただきました。農園を出て歩いていると、「長松寺」に到着。六地藏尊や立派な松の木を拝見し、今回の街歩きは終了。皆さんも、身近なところから地域に根づく場所を探し、人々との交流を楽しんでみてはいかがでしょうか。

5 長松寺



南樹法泉禅師が(天文23年1554年寂)が開山となり、創建。臨済宗建長寺派の寺で、本尊は延命地蔵尊です。境内には本堂の他、石碑や水子地蔵が安置されています。長松寺では、毎月第2日曜日の午前7時より坐禅会が行われています

六地藏尊



六体の地藏尊は「地獄」「餓鬼」「畜生」「修羅」「人間」「天上」の六道のどこにでもいて、救済の手を差し伸べてくれると言われています。地藏尊は幼児の救済をうけもつ仏様と考えられ、よだれかけがかけられるようになりました

立派な松の木！



2 とめや



「幅広い世代の方に美味しいパンを食べてもらいたい」との思いで2015年4月にオープン。開店と同時に多くの来店客でにぎわっています。11月下旬以降はドライフルーツなどを使用したクリスマス商品がおすすめです

おいしそうな品々♪



店内に並び約45種類のパンなどはすべて店主が生地から手作りしています。食感にこだわり、ふんわりもちもちのパンは子どもにも大人気です。

地場産の「のらぼう菜」を使ったパンや季節の食材を使ったオリジナルパンが並んでいます

店主イチオシ



自家製のまるやかなカスタードにハマる人が続出してしまふほど人気のクリームパン。迷ったらこのクリームパンを買えば間違いなしのおすすめ商品です

所 多摩区菅北浦1-2-19 サンライズビル102
 営 10:00~18:00 休 日曜日・第1・第3月曜日

3 いなづる製菓



2017年10月にオープンした煎餅屋。約40種類の米菓や瓦せんべいなどを販売しています。オープンして1年ほどですが、老若男女問わず地域住民を中心に親しまれています。タイミングが良ければ、焼きたての煎餅を試食できます

だるま煎餅



だるまの形をした煎餅で、お土産に大人気です。大小2つのサイズでいろいろな味があるので、自分の好きな味を見つけて購入できる楽しさがあります

所 多摩区菅北浦1-2-6-101 営 不定期 休 不定期

1 廣田豆腐店



創業90年以上の地元の方から愛されている豆腐屋。店内に並び約10種類の豆腐や油揚げはすべて手作りで。12月29日・30日・31日には「けんちん巻」を販売します(予約制)

愛情たっぷり



その日作ったものが店頭に並んでいます。コクがあり、まるやかな手作り豆腐はお客さんからおいしいと好評です

所 多摩区菅北浦2-1-3 営 5:00~20:00
 休 土曜日



4 安藤農園



野草や庭木の苗の生産や小売りをしており、約1000種類以上の花や山野草など珍しい植物や希少価値のある珍品植物を買うことができます。地元の方だけでなく遠方からも目当ての苗を買いに訪れます

所 多摩区菅北浦3-3-8 営 8:00~17:00
 休 お盆・年末年始

豊富な品ぞろえ



色とりどりの季節の花を数多く取り揃えています



ポット苗などから鉢に植え替え、庭先や玄関、室内に置いてインテリアとしても楽しめます

変わった鉢?!



私の好きなこと

エレキと歩む 第二の青春



高校生の時、ベンチャーズの来日ライブで、彼らのエレキサウンドに惹かれギターを始めました。卒業後40年間遠ざかりましたが、6年前に元プロ奏者の知人とベンチャーズの話題で盛り上がり、エレキへの想いが再燃しました。6年間で練習した曲は150曲以上。大好きなベンチャーズの「キヤラバン」が一番難しく、毎日5時間以上弾くなど熱中しすぎて腱鞘炎になりかけたこともあります。テンポが早くて指がついていけず完成度は60%ほどですが、いつか披露したいと意欲を燃やします。



昨年4月には、バンドを組む上で起こる欠員などの問題を解決するため、仲間14人でチームを結成。それぞれのパートが複数いることで問題に対応できる他、今まで以上に練習に励むようになりました。その成果もあり、今年8月に初めて「全国エレキ音楽祭」に出演。全国のエレキファンの前で演奏をすることができました。当日の様子はYouTubeに投稿され、ユーザーから好評。手応えを感じるとともに次への原動力となっています。今後も多くの人に聴いてもらえるよう技術を磨いていきます。

PROFILE

中原区下小田中
宮田 和博さん

旅行が好きで、時間や場所を気にせず楽しめるキャンピングトレーラーを6年前に購入しました。2か月に1回妻と2人で、房総半島や富士山など、関東近郊を旅しています。



ひゅうまん HUMAN



地域の歴史を後世に伝える

宮前区有馬 伊藤昇さん

15年ほど前に父が他界したこと
を機に、役所勤めを辞め農業を引
き継ぐとともに町会活動などのボ
ランティア活動を行っています。
その中で、小さな子どもからお年
寄りまでさまざまな方々と交流を
深めてきました。近年の宅地化が
進む中で、「区画整理前の山や畑、
田んぼの景色、のどかな生活を後
生に伝えたい」と思うようになり、
有馬周辺の歴史をまとめた映像制
作を決意しました。

早速作業に取り掛かったものの、
かつての記録が少なく資料集めに
苦労する日々。写真を入手しても
田んぼや野菜畑が一面に広がって
いた昔の風景から現在地を特定す
ることは困難を極めました。それ
でも「地域の歴史を風化させたく
ない」と先輩に協力を賜り、昭和
20年代の航空写真と照らし合わせ
て少しずつ分析していきました。

コツコツと校正作業を重ね、聞
き取った話や資料、写真を集約す
るため1年以上かけてようやく完
成。昭和15年頃から現在までの歴
史をまとめ、約300枚で40分
のスライド集を作り上げました。

作成した映像は要望に応じて上
映する他、近隣の小学校の授業で
昔の風景や当時の遊びなどを交え
て紹介。「学校が山だったなんて知
らなかった」などと目を丸くして
驚く表情を見ては、「次世代に興
味をもってもらう良い機会になっ
た」と手応えを感じています。また、
小学校の先生から依頼を受け、オ
リジナルのガイドマップを作成し
て昔の風景と見比べながら現地
で解説なども行っています。

これから100年先でも町や生
活の変貌を目で見て感じられるよ
う、さらに歴史を追い続けていき
ます。

POWER 全開!



ゼロから始めた

花き栽培

麻生区王禅寺 内山 曜子さん

義父が体調を崩したことをきっかけに、農業を始めて6年目になります。夫と娘の3人で約20坪の畑で花きと定番野菜を栽培。主力の花きは、四季に合わせチューリップやコスモスなど年間10品目以上手掛けています。

就農時、自農園では花き栽培をしておらず、野菜の栽培技術を身につけるためアグリスクールを受講しました。さまざまな品目の講習を受ける中、営農技術顧問の花への熱い想いに心を打たれ、花き栽培することを決意しました。

ゼロからのスタートで不安もありましたが、サラリーマンの夫が休日に畑の草刈りをしてくれるなど家族からの応援もあり、栽培に向けた準備を整えることができました。

最初に始めたヒマワリ「サンリッチオレンジ」の栽培では、強風で折れないようフラワーネットを使用。わずか60日で咲くため、日々の変化がとても楽しく、子どもの成長を見

守る親のような気持ちでした。

当時は害虫対策の意識が低く、バッタを見かけても対処しなかったため花の一部を食われてしまう被害が発生。それでもオレンジ色に元氣良く咲くヒマワリを初めて収穫した時の感動は今でも覚えています。

栽培した農産物は、全量セレスモス麻生店で販売。娘からのアドバイスでカンパニユラの花は消費者の目に留まるように通常の2倍の長さで束ね、家庭で飾る時にきれいに咲くよう1輪だけ咲いた状態で出荷しています。

3年前からは、気軽に手に取ってもらえるようにメインの花と引き立て役の花などを組み合わせたミニブーケを販売。消費者から「愛犬のお墓参り用にかわいいブーケを買って良かった」と喜ばれ、大切な行事に自分の花を選んでくれたことに大きなやりがいを感じています。家族の応援に感謝し、今後多くの人に喜ばれる花作りを目指します。

Power's Voice

10年ほど前から女性部柿生支部の童謡グループに参加し、月に2回歌の練習に励んでいます。年に1回他支部との合同練習の他、高齢者施設で発表するなど、多くの人と交流を深めながら楽しんでいます。





NOU



SHOKU



リンゴ

バラ科リンゴ属で、原産地は中央アジア地方。日本で本格的にリンゴが栽培されるようになったのは、明治時代になってからといわれています。

リンゴは保存性の高い果物です。保存の際は、水分の蒸発を防ぐため、ポリ袋などに入れて、冷蔵庫または温度の安定している涼しい場所に保存しましょう。リンゴから発生する植物ホルモンのエチレンは、果物を熟す働きがあるので、他の果物などに影響しないよう必ずポリ袋に入れるなど注意しましょう。



リンゴのポークステーキ



材料(2人分)

- 豚ロース(とんかつ用) 2枚
- リンゴ…………… 1/2個
- 塩・コショウ …… 適量
- サラダ油………… 適量
- ★ 醤油…………… 大さじ2
- ★ 酒…………… 大さじ2
- ★ みりん…………… 大さじ2
- ★ すりおろしショウガ… 大さじ1

作り方

- ① リンゴは皮をむいて3mm角に切る。
- ② 豚肉に軽く塩コショウをする。フライパンにサラダ油を熱し、豚肉を両面こんがり焼く。
- ③ 豚肉の中までよく火が通ったら、①と★を入れて絡める。
- ④ ③にとろみがついて、よく絡んだら、できあがり。

栄養価が高く食べやすいことから世界中で好まれているリンゴは、低カロリーで腹持ちが良いのが魅力です。スーパーなどでは1年中出回っているリンゴですが、旬は秋から冬にかけて。世界には数千から1万ほどの品種があるといわれています。日本で最も一般的に栽培されている品種は「ふじ」です。甘みと酸味のバランスが良いのが特徴。日本国外に盛んに輸出されており、名前も日本語の発音と同じ「Fuji」の名で親しまれています。

リンゴには食物繊維やカリウムが豊富に含まれています。カリウムには、体内の過剰なナトリウムを排出する効果があり、高血圧の予防に役立つといわれています。欧米では「1日1個のリンゴが医者を送さける」ともいわれ、栄養価の高い果物として知られています。

品種によっては、完熟するとリンゴの表面がべとつくものがあります。リンゴそのものから生成される成分によるもので、少し磨くとピカピカになる自然のワックスです。

購入の際は、皮にハリとツヤがあり、実がよくしまっているものを選びましょう。赤いリンゴの場合は、お尻の方までしっかりと赤く染まっているものの方が熟している証拠です。上が赤く下の方が緑色のものは完全に熟していないので、酸味が強い場合があります。

あなたの野菜畑に 耕盤はありませんか？



営農技術顧問 吉田 敏政

記録的な集中豪雨があったかと思うと、一転して乾燥が続くなど、近年の気象条件は野菜の生育にとってますます厳しくなっています。それゆえ野菜畑の土作りの重要性も年々大きくなっています。土作りと聞くと、堆肥を入れたり、石灰を入れて酸性を改良したり、さらに毎年土壌分析を実施しているなどさまざまな方法で取り組んでいる方も多いと思います。しかし、それだけで十分でしょうか？

よい土壌を作る3つの要因

(1) 化学性

pH（酸性度）が適正で、作物に必要な養分が土壌の種類に応じて適量含まれていること。土壌分析によって診断されます。

(2) 生物性

土壌微生物の活性が高く多様性があり、特定の有害センチュウや土壌病原菌がいないこと。

(3) 物理性

根が伸びる作土層が柔らかで厚く、適度な排水性と保水性があること。

物理性の診断

上記のうち、(3)の物理性については個人でもある程度診断することが可能です。

簡便な方法は、栽培支柱に使う棒などを土に挿してみることです。硬くてそれ以上挿さらなかったところが、耕盤（トラクターなどによって固められた硬い層）の上面です。耕盤があると、水はけや通気性が悪くなり、根はそれ以上深く伸びていくことができません。棒が土に挿さった長さ分が、作土層の厚さになります。

丁寧に行うためには、スコップで60cm以上の穴を掘って、土壌の断面を観察します。作土層の厚さ・硬さ、耕盤の有無・厚さ、根の張り具合、土壌団粒の状態などがわかります。（図1）



図1

耕盤を破壊するには

- ・深根性のマメ科緑肥（セスバニア、ヘアリーベッチ）や、根張りに優れたイネ科緑肥（トウモロコシ、ソルゴー）、エンバク野生種（緑肥ハイオーツ、ニューオーツ等）などの緑肥の作付けが有効です。ただし2か月程度の栽培期間と、すき込み後約1か月間の分解期間が必要なため、計画的な作付けが必要です。
- ・即効的には農業機械の利用があります。従来は下層土と作土とを混ぜる深耕や天地返しが盛んに行われたことがありました。しかし、下層土は作土に比べて有機質や肥料分が少ないため、養分不足になりやすいことや深耕や天地返し後に土壌病害やセンチュウ被害が拡がりやすいことなどから留意が必要です。
- ・そこで近年では耕盤を壊し、縦に大きな亀裂を作るが、下層土はなるべく持ち上げないプラソイラ耕などが普及してきています。プラソイラは1本爪タイプの場合、20psクラスのトラクターで牽引可能です。
- ・小面積の畑ではスコップなどを用いて、畦幅だけでも耕盤に亀裂をいれるようにしておくといいでしょう。



図2

- ※（図2）は、JAセレサ川崎耕土改良部会所有のプラソイラ同様機（2本爪タイプ）。依頼があれば部会員が作業を行います（有料）希望者はJAセレサ川崎本店組織部（担当：高波 TEL 044-877-2509）まで。

※ JA では、本欄で執筆している営農技術顧問による営農相談コーナーを開いています。

病害虫被害の場合は、被害作物をお持ちいただくと助かります。開催日は22ページをご参照ください。

農協改革

「セレサモス出荷者の皆さまへのアンケート」の

調査結果について

当JAの「自己改革」に対する評価を確認するため、セレサモスの出荷者の皆さまにご協力をいただき、7月にアンケートを実施しました。今般、その結果がまとまりましたので、下記の通り結果の一部についてご報告します。

アンケートでは、3つの営農経済事業に対して同一の質問項目を設定し、①期待度②満足度③努力度④事業内容の改善・向上度を評価していただきました。その中で「努力度」においては、下表(抜粋)の通り3事業とも高い評価をいただくことができた他、「事業内容の改善・向上度」においても、「自己改革」の成果や効果が出荷者の皆さまへ浸透していることを確認しました。

当JAではこの結果に満足することなく、引き続き「農業所得の増大」や「都市農業の振興」に向けた取り組みを加速させ、「組合員満足度が高く、地域に必要とされるJAセレサ川崎」を目指して「自己改革」の取り組みを進めてまいります。

なお、アンケート結果の詳細につきましては、当JAのホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

JA セレサ川崎の「自己改革」の取り組みに対する評価 (抜粋)

		営農指導事業 (%)	大型農産物直所「セレサモス」(販売)事業 (%)	農業生産資材購買事業 (%)
努力度				
①	努力している	49.3	51.1	37.6
②	少しは努力している	46.3	44.0	51.3
肯定意見合計		95.6	95.1	88.9
③	努力していない	3.4	4.5	10.5
事業内容の改善・向上度				
①	改善・向上している	65.4	64.7	54.9
②	3年前と変わらない	28.3	30.1	39.9
③	低下している	4.9	4.5	3.3

※未回答は掲載を省略しているため、合計は100%にはなりません。

12月の運勢 モナ・カサンドラ

♏ おひつじ座 3/21~4/19

【全体運】興味のあることに思い切ってトライしてみたい時期。攻めの姿勢が幸運のポイントに。遠出のドライブも刺激的

【健康運】不規則な生活リズムを正すと好転の兆し

【幸運の食べ物】エリンギ

♏ おうし座 4/20~5/20

【全体運】マイナス思考になりやすく、周囲ともめそう。意識的に笑顔を心掛けて。気分転換にはハーブを使った料理を

【健康運】ストレッチなど、ゆったりした運動が◎

【幸運の食べ物】シュンギク

♏ ふたご座 5/21~6/21

【全体運】勢いはあるものの、ちょっとしたことでペースを崩しがち。いつまでも過去を引きずらないで。芸術鑑賞にツキ

【健康運】リラックスしていると運気に好影響あり

【幸運の食べ物】サツマイモ

♏ かに座 6/22~7/22

【全体運】あれこれ考え過ぎてしまいそう。悩むより、ぶつかってみるのがベストです。開運には部屋の掃除や整理整頓を

【健康運】スポーツに励むと、大いに楽しめるはず

【幸運の食べ物】イイダコ

♏ しし座 7/23~8/22

【全体運】楽しいことに縁がある時期。遊びや旅行のお誘いには快くOKして出掛けて。アートに触れるプランもグッド

【健康運】歩くなど、ちょっとした運動がラッキー

【幸運の食べ物】ハクサイ

♏ おとめ座 8/23~9/22

【全体運】余計なおせっかいからトラブルを招きがち。見守る気持ちを大切に。趣味や好きなことに励む時間を持ってみて

【健康運】生活リズムを整えること。寝不足はNG

【幸運の食べ物】ナガイモ

♏ てんびん座 9/23~10/23

【全体運】コミュニケーション能力が活性化。誰とでも気軽に親しくなれそう。グループレジャーを企画すると良い刺激に

【健康運】暴飲暴食に注意。よくかんで食べる

【幸運の食べ物】ブリ

♏ さそり座 10/24~11/22

【全体運】やるべき作業を早めに片付け、自分の時間を満喫したい月。やったことのない趣味を始めるのにも向いています

【健康運】体を動かすことで、元気が上向く時期

【幸運の食べ物】芽キャベツ

♏ いて座 11/23~12/21

【全体運】気力が増し、いろいろなことにチャレンジしたくなる予感。どんどん動いていけば、確かな手応えを得られそう

【健康運】体力的な無理は避けて。休みも必要です

【幸運の食べ物】ユズ

♏ やぎ座 12/22~1/19

【全体運】優しさや思いやりを大切にすることで、人間関係にうれしい変化が。気分リフレッシュにはフットケアがお勧め

【健康運】軽い体操で体のリズムを取り戻せそう

【幸運の食べ物】フグ

♏ みずがめ座 1/20~2/18

【全体運】知的ジャンルに興味を持つと、新鮮な驚きや出会いがあります。講演会に行ったり、体験教室に参加したりして

【健康運】運動不足は体重増のもと。日頃から運動を

【幸運の食べ物】小豆

♏ うお座 2/19~3/20

【全体運】ストレスを感じやすいかも。1人の時間を持つなどして、心を穏やかにキープして。鉢植え植物の世話にツキ

【健康運】疲労の解消を。リラックスタイムが大事

【幸運の食べ物】シヤモ



珍しい!?

多摩区菅の五嵐敏充さんの畑で、おもしろい形の柿がとれました。



おいしくできました

機関誌をいつも楽しく拝読しています。「食&農」のレシピを有意義に活用しています。9月号のジャガイモのそばろ煮を作ったところ、とてもおいしくできました。ありがとうございます。

(川崎市・陶山さん)

行ってみたい!

9月号の川崎探検隊を読みました。近所の今井だったので知っている場所が掲載されていましたが、まだ行ったことのないお店もあったので、今度行ってみようと思います。

(中原区・中館さん)

今月の運勢は・・・?

セレスモスの野菜や果物は新鮮でよく買いに行きます。安いの魅力の一つです。毎月、機関誌の運勢の記事も楽しみにしています。

(宮前区・吉田さん)

初めて見ました

機関誌9月号の表紙の「ケイトウの花」とてもきれいでした。JABOXの「コンニャクの実」は見たことがなかったです。珍しいですね。

(高津区・黒田さん)

秋の楽しみ

毎週セレスモス麻生店に買い物に行きます。梨やブドウなど秋の果物を味わいました。旬の農産物を買うことができるのが楽しみです。

(町田市・大内さん)

物々交換♪

毎年ジャガイモを姉や友達に送っています。今年は豊作で、たくさん収穫できました。送ったジャガイモをおいしいと喜んでもらうと嬉しいですね。お返しに魚をいただき、おいしく食べています。

(宮前区・和田さん)

ありがとう

年金の相談で支店の窓口に行くこと、とても親切に説明してくれました。いろいろな特典などがあり、楽しみです。今後ともよろしくお願いします。

(幸区・浅本さん)

わくわくする街歩き

機関誌の「川崎探検隊」の記事を散策の際、参考に使っています。その地でのさまざまな店が紹介されているので、読んでいても楽しくなります。

(多摩区・戸澤さん)

おいしいものレシピ

DISH UP!の記事は、簡単ですが作りやすくなるようなわかりやすいイラストなので、とても参考になります。今度は栗を使ったお菓子のレシピを紹介してください。

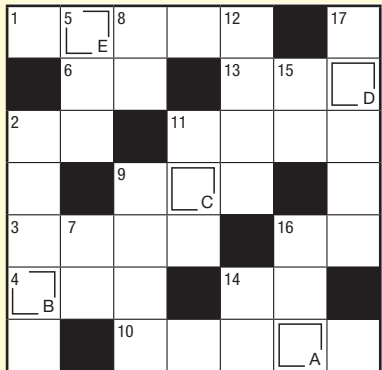
(宮前区・山本さん)

投稿のお礼

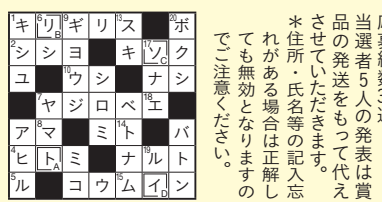
たくさんのお便りありがとうございます。これからもご感想お待ちしております。

(JA広報課)

クロスワードパズル



9月のこたえ



クリヒロイ
応募総数30通
当選者5人の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
*住所・氏名等の記入忘れがある場合は正解しても無効となりますのでご注意ください。

タテのカギ

- 磐梯山の南側にある○○湖
- タマチシヤとも呼ばれる野菜
- 建物の壁を覆うこともある植物
- 悪の反対語
- 歳末大売り出しの○○で2等が当たった
- 陰曆12月の異称
- 自動車の荷物を入れるところ
- 洗濯物をぶら下げます
- 棋士が打つもの
- 腰に巻いてバックルで留めます
- 賛成する人が多い意見を採用すること

ヨコのカギ

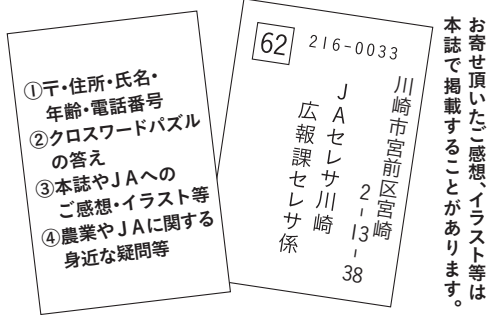
- サンタさんが靴下に入れてくれるかも
- 腰を掛ける家具
- 自動車を洗ってからかけます
- ブームが去った状態です
- 牛や豚などの舌の肉
- 15歳が志学、30歳が而立(じりつ)なら40歳は
- 肉や魚を裁断したときに出る余りのところ
- 赤○○だから青になるまで待とう
- カラー○○ハヤシ○○
- 地獄谷に在るものは温泉に入ります
- それとこれとは話が○○だよ



◆ 応募方法 ◆

このコーナーでは、身近な出来事など、皆さまからお便りをお待ちしております。お便りをいただいた方およびクロスワードパズルにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方に、セレスモス等で使える農協全国商品券1,000円分をプレゼントします。送付方法は郵送で、郵便番号、住所、氏名(匿名の方はペンネームを添えて)、年齢、電話番号を記入し、右記まで送付してください。なお、写真の掲載を希望される方は、プリントを封書でご送付ください。
※匿名を希望される場合は、必ずペンネームをお書き添えください。
※個人情報保護法に基づき、応募された方の個人情報は賞品発送以外には使用しません。

◎締切 12月17日(月) 必着



共にくらしした人形に別れを告げる

セレササービス(株)は10月20日、JAセレサ梶ヶ谷ビルで、今回で3回目となる人形供養祭を開きました。

同供養祭は、子どもの成長や家族の暮らしを見守り、共に過ごしてきた人形を納め供養してもらおうと行っているもの。祭壇には、組合員ら299人が持ち寄った思い出の詰まった3,264体の人形が奉納され、照天神社の宮司が祭事を執り行う中、参列者が順番に玉串を捧げ、静かに手を合わせました。

参列者は、「いつも一緒だった人形をこのように立派に送り出せてうれしい」と、楽しかった思い出を振り返りながら別れを告げていました。

また、当日はセレサモスの出張販売や仏事相談なども行い、参列者は新鮮な市内産農産物を買求めるとともに普段人には聞けない終活に向けた不安も解消しました。



人形に別れを告げる参列者

振り込め詐欺未然防止で感謝状

振り込め詐欺による被害を未然に防いだことで、久地駅前支店の金子緑貯金代理と加藤弘衣職員に10月11日、向丘支店の谷本将行職員と牛木沙織職員に10月25日、各警察署長より感謝状が贈られました。



感謝状を受けた金子貯金代理と加藤職員



感謝状を受けた谷本職員と牛木職員

地元小学生にJAの仕事を紹介

新城支店は10月2日、地域貢献活動の一環として、川崎市立新城小学校2年生が行う職業インタビューに協力しました。当日は、6人の児童がJAの仕事内容や仕事のやりがいなどについて工藤幸一支店長に1人ずつインタビュー。児童は、メモをとりながら熱心に支店長の話を楽しみました。



インタビューする小学生

晴れの入賞者

敬称略()内住所

平成30年度川崎市花き立毛共進会

露地切花(秋の部)

10月19日 市内巡回 出品点数10点

▽特選=ドリアン・吉田貴次(馬絹)

▽入選=ケイトウ・中村成彦(新作)、ドリアン・田邊裕崇(馬絹)

パンジー・ピオラの部

10月23日 市内巡回 出品点数10点

▽特選=ポット・内藤恭正(下小田中)

▽入選=ポット・秋山智男(東有馬)、同・手塚和之(野川)

葉ポタンの部

10月31日 市内巡回 出品点数7点

▽特選=ポット・手塚和之(野川)

▽入選=ポット・松澤久(東百合丘)、地堀・鹿島弘久(下小田中)

ウォーキングで健康づくり

各地区主催の健康ウォーキングが10月に高津地区、菅地区、稲田地区で行われました。このウォーキングは、JA健康寿命100歳プロジェクトの一環で、運動を通じて健康の維持につなげようといわれているもの。組合員や地域住民らは、心地よい汗を流し、楽しい時間を過ごしました。



景色を楽しむ参加者(高津地区)

教えてJA!

Q&A 広場

農業やJAに関する
身近な疑問等をお寄せください



ありがとう。
参考になりました。



Q

先日、テレビで台風24号により農業用施設や農産物などに深刻な被害が出ていることを知りました。川崎市内ではどのぐらいの被害があったのでしょうか。

A

10月19日現在の被害状況は、11地区で施設被害126件、作物被害112件となっています。主な施設の被害はハウスや棚・倉庫、作物の被害は倒状や浸水・落果などの被害がありました。こうした被害を受けた農業者を金融面から支援するため、10月から「災害救済資金」の取り扱いを始めました。台風で被災したJA組合員が対象で、原則1,000万円まで無利息、無担保、保証料無料で貸し出しを行い、ハウスや畜舎などの修復などにかかる設備資金は最長で10年、農業用資材や種苗などにかかる運転資金は最長で5年、借入れを行うことができます。申込期間は来年の3月29日まで。今年の11月30日までに申し込んだ場合に限り、既に支払った修繕費などについても300万円未満まで借入れが可能です。詳しくは、支店窓口または渉外担当者にお問い合わせください。



【報告事項】

■農業総合支援対策事業実績報告
対象期間：7月1日～9月30日(第2四半期)

	件数
農機購入	169
ハウス設置	8
ハウス補修	21
ハウス内システム設置	4
合計	202

今後実施すること

■平成30年度総代研修会
日程：12月6日(木)15時
場所：セレサホール飛翔
目的：協同組合への理解ならびに自己啓発を通じて地域発展に資する

■デジタルサイネージの導入

現在当JAで運用している金利表示システムは平成20年の導入から約10年が経過し、表示機器および運用サーバーの老朽化による障害が懸念されることから、現在の金利情報のみを表示するシステムから、金利情報を中心にセレサ川崎のさまざまなPR情報を発信することが可能なシステムへ更新する。また、複数の店頭ポスターをデジタルサイネージで配信することにより、掲示スペースの拡大やポスター費用の削減などにつなげる。

※屋外や店頭などのあらゆる場所でディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステムの総称して「デジタルサイネージ」と呼ぶ。

作業スケジュール：平成31年1月(予定)

他26項目を報告

【協議事項】

16項目を協議決定

セレサのDATA (10月31日現在)

購買品供給高	6億 44百万円
販売品取扱高	8億 13百万円
施設事業契約高	59億円
貯金	1兆 4,874億円
貸出金	5,383億円
長期共済保有高	1兆 6,830億円
年金共済保有高	346億円
組合員数	67,607人
うち正組合員	5,452人
准組合員	62,155人

12月のセレササロン

- 4日(火) みなみ支店
内容 スノードーム
会費 1,100円
- 5日(水) 高津支店
内容 牛乳パックで作る扇子
会費 1,000円
- 6日(木) 中原支店
内容 パウダーアート(祝い亥)
会費 1,700円
- 12日(水) 生田支店
内容 牛乳パックで作る扇子
会費 1,000円

●対象 おおむね60歳以上の方
お問合せ・お申込み
本店生活福祉課(TEL 044-877-2509)

12月の営農相談コーナー

- 経済センター店
(宮前区有馬 2-13-1)
5日(水)、7日(金)、12日(水)、
19日(水)、21日(金)、26日(水)
- 資材店舗パーシモン
(麻生区片平2-30-15)
4日(火)、11日(火)、13日(木)、
18日(火)、20日(木)、25日(火)
- 時間 9:00～16:00
- 相談員 JAの営農技術顧問
- その他 予約は不要です。

営業時間のご案内

- 支店窓口 平日9:00～15:00
- ATM 8:00～21:00
(セレサモス麻生店は営業時間内の稼働)
- 経済センター店
平日・土日9:00～16:30※祝日は休み
- 資材店舗パーシモン
平日・土日9:00～16:30※祝日は休み
- セレサモス麻生店
10:00～17:00
- セレサモス宮前店
10:00～18:00
※渋滞緩和のため開店時間を早める
場合があります。
(定休日：水曜・年末年始他)

12月の休日住宅ローン相談会

- 15日(土) みなみ支店、大島支店、
日吉支店、新城支店
- 16日(日) 住吉支店、菅生支店、
千代ヶ丘支店

開催支店または下記ホームページから
ご予約のうえ、ご来場ください。
ご予約がない方はお待ちいただくことが
ございます。
※時間は 9:00～15:00

12月の年金無料相談会

- 2日(日) 橘支店
- 4日(火) 大師支店
- 6日(木) 大島支店

開催支店または下記ホームページから
ご予約のうえ、ご来場ください。

12月の遺言信託個別相談会

- 14日(金) 稲田支店
- 時間 9:00～16:00
- 相談員 JA神奈川県信連の財務
コンサルタント等

- ・相談時間は原則1時間30分まで。
- ・ご相談無料・予約制・秘密厳守。
- ・ご予約は相談会の前々営業日
16:00までにお近くの支店まで。

※開催日に都合がつかない場合は、
お気軽にお近くの支店までお問合
せください。

※JA神奈川県信連 信託代理店
JAセレサ川崎 本店金融推進部
(TEL 044-877-2140)

当JAが行う遺言信託代理業務は契約
締結の媒介です。

12月の経営相談会(法律経営)

- 4日(火) 9:30～11:30向丘支店
13:30～15:30中原支店
- 11日(火) 13:30～15:30みなみ支店
- 18日(火) 9:30～11:30橘支店
13:30～15:30柿生支店
- 22日(土) 9:30～11:30梶ヶ谷ビル
- 25日(火) 13:30～15:30中原支店

相談時間は原則30分程度。予約制。
ご予約は相談会の前営業日16:00までに
各会場支店の総合相談担当まで。
(梶ヶ谷ビルは本店資産相談課まで)

土曜日の相談会については、ご予約が
ない場合は開催いたしません。

セレササービスのご案内

JAセレサ葬祭センターは、ご葬儀ご
法事など、信頼と安心・安全をモットー
にまごころを込めてご奉仕いたします。
提携式場として、「中野島ほうさい殿」
も、ご利用いただけます。
事前相談や見積もり等承っております。
お気軽にお問合せください。

(日・祭日除く 9:00～17:00)
フリーダイヤル **0120-3096-56**

危険のご連絡は 24時間・年中無休
<http://www.ceresa-service.jp>





伊藤 実さん



- ①麻生区金程
- ②麻生店
- ③柿・ダイコン・ハウレンソウなど

出荷者のコメント

50%ほどの畑で定番野菜や大秋柿など年間約30品目を栽培しています。年間を通じて旬のおいしい農産物を消費者に届けられるよう心掛けています。11月以降はサトイモやハウレンソウがおすすめ。朝どれの新鮮な露地野菜をぜひご賞味ください。

藤田 幸雄さん



- ①宮前区潮見台
- ②宮前店
- ③ネギ・ブロッコリー・キャベツなど

出荷者のコメント

年間約20品目の定番野菜を露地栽培しています。「消費者に安全でおいしい野菜を届けたい」との思いで、減農薬と有機肥料中心の栽培に力を入れる他、水量を調整するなど栽培管理を徹底しています。11月以降はサトイモがおすすめ。ぜひご賞味ください。

山田 邦夫さん



- ①麻生区岡上
- ②麻生店
- ③米・ダイコン・ネギなど

出荷者のコメント

30年ほど前に就農し、約30品目の野菜や米を栽培しています。特に主力の米は、「はるみ」「マンゲツモチ」(もち米)「みどり米」(古代米もち米)の3種類を手掛け、11月頃から出荷をしています。収穫したての新米をぜひご賞味ください。

森 三十四さん



- ①高津区久末
- ②麻生店・宮前店
- ③シイタケ・キャベツ・ハウレンソウなど

出荷者のコメント

年間10品目ほどの農産物を栽培しています。特に力を入れているのが原木シイタケ。温湿度の管理を徹底し、快適な環境で育てたシイタケは「大ぶりで香りが良くおいしい」と好評です。5月末頃まで出荷していますので、ぜひ食べてみてください。

①住所 ②出荷店舗 ③主な出荷品目

セレサモスからのお知らせ



セレサモス麻生店

11月下旬以降、ハクサイやブロッコリーなどが出荷される予定です。

旬のハクサイは葉がぎっしりつまって甘みがたっぷり。他の食材との相性もよく、鍋料理がおすすめです。体を芯から温め、冬本番に向け体調を整えましょう。

12月は水曜日も休まず営業いたします。皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

所在地：川崎市麻生区黒川172

電話：044-989-5311

営業時間：(11月～3月)10:00～17:00

※渋滞緩和のため開店時間を早める場合があります。

定休日：毎週水曜日、年末年始他

12月の出張販売

6日(木)11:00～御幸支店
13日(木)11:00～大島支店
27日(木)11:00～みなみ支店

お米の日

【麻生店・宮前店】

毎週金・土曜日は1銘柄を2割引で販売いたします。

※割引制度については、予告なく変更する場合があります。

☆セレサモスの駐車場について
警察署からの要請により、路上での入場待ちは一切できません。

セレサモス宮前店

11月下旬以降、キャベツやブロッコリーなどが出荷される予定です。

冬キャベツは葉が固く加熱しても煮崩れしにくいので、ロールキャベツや煮物などによく合います。葉や芯がみずみずしく、重量感があるものがおすすめです。

12月は水曜日も休まず営業いたします。皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

所在地：川崎市宮前区宮崎2-1-4

電話：044-853-5011

営業時間：(通年)10:00～18:00

※渋滞緩和のため開店時間を早める場合があります。

定休日：毎週水曜日、年末年始他



材料 (2~3人分)

- ・エビ…中10尾
- ・帆立…中10個
- ・片栗粉…適量
- ・塩…適量
- ・サラダ油…適量
- ・ナス…1本
- ・パプリカ (赤・黄・緑)…各1個
- ・タマネギ…1個
- ★ {
 - ・ごま油…大さじ1
 - ・コチュジャン…大さじ2
 - ・おろしニンニク…小さじ1
 - ・砂糖…大さじ2
 - ・酒…小さじ1/2
 - ・コショウ…適量

彩り豊かな野菜とシーフードの甘辛炒め

作り方

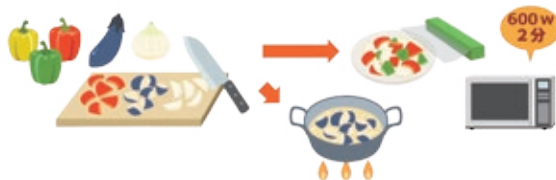
- ① 殻をむいて背わたを取ったエビと帆立は、片栗粉と塩で揉んだ後、水で洗い、水気を切る。



- ② ①に軽く片栗粉をまぶしたら、サラダ油を熱し、サッと揚げる。



- ③ ナスとパプリカは乱切り、タマネギはくし形切りにする。ナスは素揚げし、パプリカとタマネギは耐熱容器に入れ、電子レンジ (600w) で2分ほど加熱する。



- ④ フライパンに★を入れて少し加熱させる。



- ⑤ ②と③をフライパンに入れ、絡めたらできあがり。



ワンポイントアドバイス



中原区上平間 高木 トミ子さん

エビと帆立は塩と片栗粉で揉むことによって臭みや汚れを取ることができます。帆立を貝柱に代用してもおいしいです。また、コチュジャンの量は好みで調整してください。簡単に作れ、彩りもきれいな一品ですので、ぜひ作ってみてください。